

## 小学校区教育協議会－はぐくみネット－事業

いま、「地域の子どもを地域ではぐくむ」を合言葉に、学校・家庭・地域が一体となって子育て・教育に取り組む教育コミュニティづくりが重要になっています。

## キーワードは「子ども」・「学校と一緒に」

2つのキーワードのもと、「地域の子どもたちのため」という共通の目標に向かって、学校・家庭・地域が一体となってともに汗をかき、知恵を出し合いながら、学校と地域での活動の両方を活性化することを目指します。

### はぐくみネットとは？

子どもは家庭を中心に、学校の教員や地域の住民に見守られながら、さまざまな経験や学びを通じて成長していきます。子どもにとって、多くの人と関わり成長していくことは、様々な価値観を身につけ、人間性を豊かにし、「生きる力」をはぐくむことにつながります。

そのため、地域社会の共有財産である学校を核に、学校教育支援の取り組みを進め、地域社会で様々な人が継続的に子どもに関わるしくみをつくり、人と人とのつながりによって子どもをはぐくんでいくという「教育コミュニティ」をつくることをめざして、市内の小学校区において、「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」が設置されています。

### はぐくみネットコーディネーターとは？

「はぐくみネット」が学校・家庭・地域をつなぐ役割を果たすために、取り組みの要として活躍している地域ボランティアです。事務局を設け、はぐくみネットコーディネーターを中心に、各組織・団体間の連絡調整や情報収集・発信、会議の準備などを行っています。

#### 【活動のポイント】

- ☆ コーディネーターだけで活動するのではなく、ともに取り組む人を増やすことが、「はぐくみネット」の輪を広げることにつながります。「頼み上手、お願い上手」「できることを、できるときに、できる人が、無理なく、楽しく」を合言葉に、より多くの仲間を誘って、ともに楽しく取り組むことが、活動を成功させ、長く続ける秘訣です。

### ◎ちょっとメモ1◎

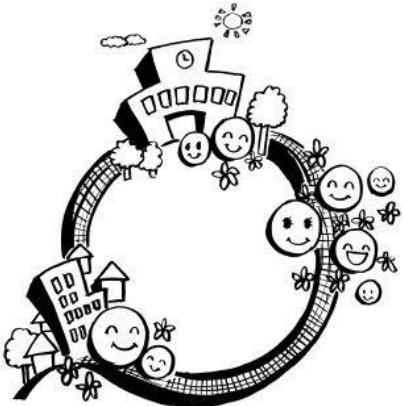
大阪市は保護者や地域住民などによる学校における教育活動のサポートの一層の充実に向け、学校園・家庭・地域が連携した教育コミュニティづくりを進めたり、家庭教育や子育てに関する学習を支援したりすることで、社会総がかりで子どもをはぐくむ活動が活発になることをめざします。

(大阪市教育振興基本計画(平成25年3月改訂)より)

## 何をしているの？

### ★学校・家庭・地域の情報・意見交換の場づくりをしています

各小学校校区の「はぐくみネット」は、地域の諸団体のほか、小学校、PTAの代表者などで構成され、会議などの様々な取り組みを通して、学校や地域の子育て・教育活動に関する情報の共有や意見交換を行い、互いに協力しながら活動を行っています。



#### 【活動のポイント】

- ☆ 会議の開催、ボランティアの募集や紹介、お祭りなどの地域全体が協力して取り組む催しの開催などの様々な取り組みを通じて、組織・団体や個人の間をつなぎ、互いに協力しあって取り組む関係をつくることで、**地域全体の子育て・教育に取り組む力を高めること**をめざしています。

### ★学校と地域をつなぎ、学校に地域の力を導入しています

コーディネーターを中心に、「はぐくみネット」が学校と地域の間のつなぎ役となり、学校のニーズに応じて地域の方をボランティアとして紹介するなど、学校教育を支援しています。

#### 【重要】学校教育支援

#### 【活動のポイント】

- ☆ 学校側のニーズと地域の力が必要なときに出会うことができるよう、日ごろからお互いに情報を共有する取り組みが大切です。学校からは、どんな子どもを育てようとしているのか、そのためにどのような教育活動をしているのかを知ってもらい、「こんなときに、こんな支援がほしい」など、具体的なニーズを積極的に発信してください。
- ☆ より多くの地域のボランティアが関わって、普段の学校の様子を知ってもらうことが、学校への理解を深め、学校への支援の充実につながっていきます。ゲストティーチャーなどの特技や知識を授業で生かしてもらうものから、登下校の見守り活動などの気軽に参加してもらえるものまで様々です。学校のニーズに合わせて地域の力を生かしていくことが大切です。
- ☆ 生涯学習ルームの受講生が学んだ内容を子どもたちに教えるなど、学校内すでに実施されている地域活動と学校の教育活動をうまく組み合わせる取り組みも大切です。

### ◎ちょっとメモ2◎

平成25年より・・・各区が実施要綱を策定し、区の実情に合わせた運営形態で実施することになりました。(予算についても、すでに区ごとに独自の内容になっています。)

平成26年より・・・各区がコーディネーター要綱を策定し、コーディネーターの任務や推薦方法について、区の実情に合わせて決めるようになりました。

## ★人と人が出会い、交流する催しなどを開催しています。

子どもの体験教室や、大人と子どもが交流する催し、地域の子育て・教育について考える取り組みなど、子どもの成長に役立つ活動を通じて人と人のつながりをつくることをめざし、地域の特性を生かしながら、休日や放課後などに、構成する諸団体が力を合わせて様々な取り組みを行っています。

### 【活動のポイント】

- ☆ 「大人が楽しいことは、子どもも楽しい！」子どもを中心 に置きながらも、スタッフである大人自身も楽しめる取り組みにすることが、活動を長く続ける秘訣です。
- ☆ 地域の大人や子どもに、催しの参加者としてだけでなく、スタッフとして企画や運営に関わってもらう機会を増やしていくことで、より充実した取り組みにすることができます。
- ☆ お祭りなどの年に1回の大きな催しのほか、隔月や毎月、毎週など、小規模でも継続的な取り組みも取り入れることで、地域の交流をより深いものにできます。



## ★子育て・教育の情報を地域で共有するために、情報収集・発信をしています。

地域の住民全体で子育てや教育に関わる情報を共有し、ともに子どもたちを見守り、育っていく機運を高めるために、情報誌の発行、Webページの作成などによって情報を発信しています。

### 【活動のポイント】

- ☆ 記事の取材などの情報収集を通して、人や団体とのつながりを広げていきましょう。
- ☆ 担当者だけでつくるのではなく、取材・執筆や、イラストの描画などの作業を分担しながら、みんなで楽しくつくりましょう。
- ☆ 一人暮らしや高齢者の方々など、普段はあまり学校や子どもと接点がない方にも「はぐくみネット」の取り組みに興味を持って読んでもらえるように、内容や周知方法を工夫しましょう。（情報の発信方法は、地域の実情に応じた方法で行ってください。）

### ◎ちょこっとメモ3◎

はぐくみネット事業経費の会計事務処理は、地域の方で行ってください。

平成24年6月20日に教育長から通知があり、事業の会計管理に関しては、学校関係者が関与しないよう通達されています。